

Challenge

チャレンジ

BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業を展開するランドマーク（川崎利彦社長、千代田区）は、建築現場や大規模修繕工事における駐車場手配代行を効率化するアプリ「JESUS（ジーザス）」の提供を始めた。

現場に関する駐車場手配代行

アプリ「JESUS」で完結

＝ランドマーク＝

アプリ提供の背景には、駐車場手配・管理業務の煩雑さがある。現場担当者や現地調査に加えて、駐車場管理業者との交渉、書類作成、トラブル対応など、本業の質を高めるわけではないうのに、多くの手間がかかる。さらに、現場での進捗管理や承認業務、請求書管理の業務が増えると、書類の紛失などコンプライアンス上のリスクが発生する。そのため、これらの管理や承認を一括で行える現場が



現場ごとに駐車場を一元管理できる

求められていた。川崎社長は、「駐車場手配では現在もファクスや電話・メールでの連絡に依存している企業は多い。働き方改革により労働時間の削減が求められる今、アウト

ソーシングを活用し、自社の社員を生産性の高い業務に集中させることが重要だ」と強調する。ジーザスは、駐車場手配代行に関する依頼・提案・発注・請求に至るまで全ての業務がアプリ内で完結する。現場から最も近い駐車場を最短1日で提案する。急ぎの手配、追加や延長も場所を問わずに依頼・発注できる。現場ごとに駐車場を一元管理できるこ

とも特長。承認機能を搭載し、内部統制にも対応できる。また、施工管理システムや基幹システムとのAPI連携も可能で、さらなる業務効率向上も図れる。アプリの利用料や導入費は無料で、駐車場手配代行の料金だけがかかるため、コスト面でも導入しやすくなる。川崎社長は、「当社は『サブリース・賃料立替払い』という業界標準のビジネスモデルを考案した。これまで累計10万件以上の手配実績がある。駐車場手配代行のパイオニアとして、今後も新しい価値を提供し続けることを目指す」と展望を語った。



全ての業務がアプリ内で完結